

平成25年度 兵庫県内の市町財政の状況

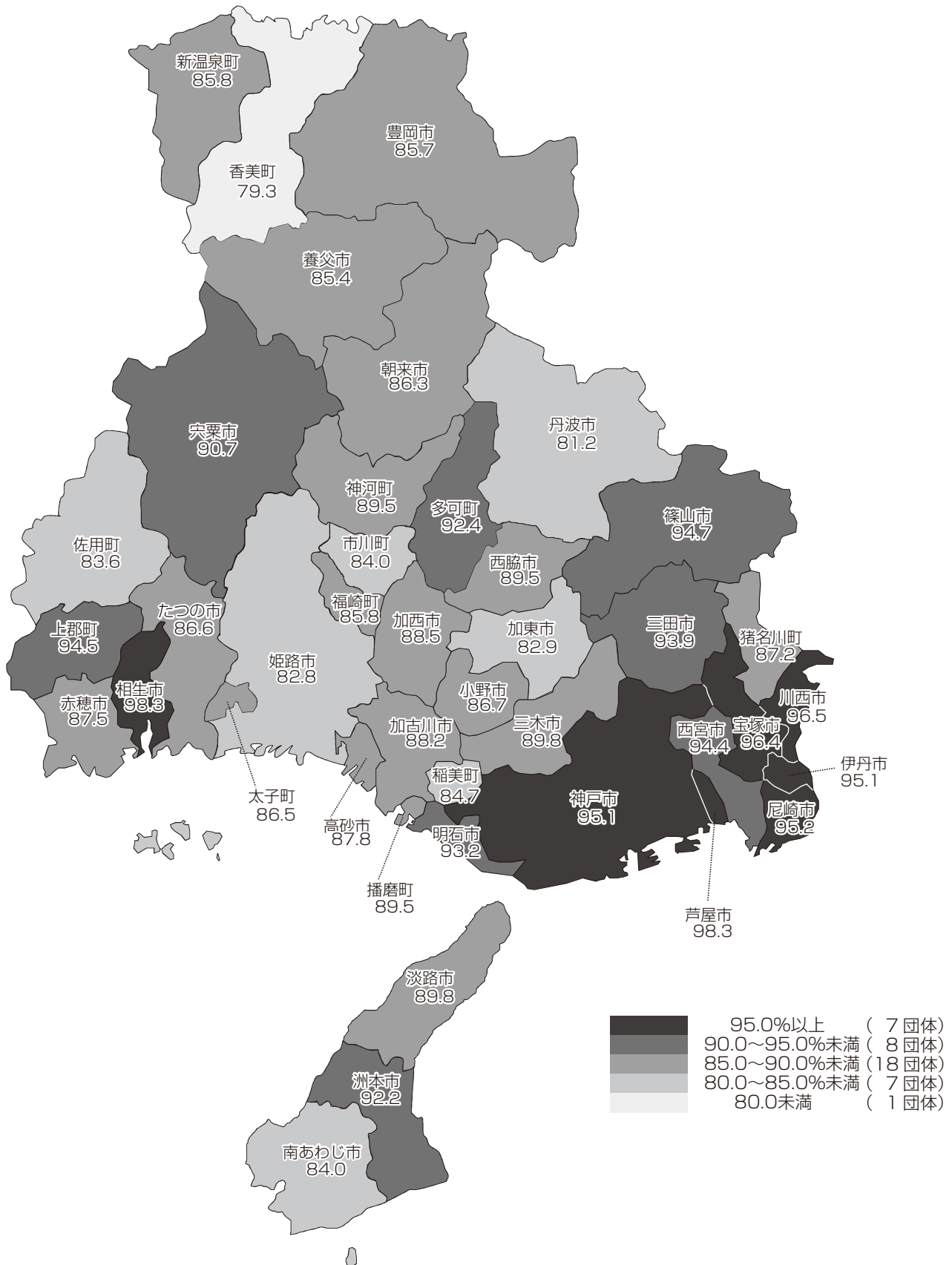
(1) 経常収支比率の状況	
【資料1】 平成25年度 兵庫県内各市町の経常収支比率の状況〈地図〉	110
【資料2】 経常収支比率の対前年度比較	111
(2) 実質公債費比率の状況	
【資料3】 平成25年度 兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況〈地図〉	112
【資料4】 実質公債費比率の対前年度比較	113
(3) 将来負担比率の状況	
【資料5】 平成25年度 兵庫県内各市町の将来負担比率の状況〈地図〉	114
【資料6】 将来負担比率の対前年度比較	115
(4) 税徴収率の状況	
【資料7】 平成25年度 兵庫県内各市町の徴収率（個人住民税）の状況〈地図〉	116
【資料8】 徴収率（個人住民税）の対前年度比較	117
【資料9】 平成25年度 兵庫県内各市町の徴収率（固定資産税）の状況〈地図〉	118
【資料10】 徴収率（固定資産税）の対前年度比較	119
【資料11】 個人住民税現年徴収率と特別徴収実施率の相関関係	120
※参考	
【参考資料①】 平成25年度 兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況〈地図〉	121
【参考資料②】 平成26年度 兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況〈地図〉	122
【参考資料③】 ラスパイレス指数の対前年度比較	123

(1) 経常収支比率の状況

【資料1】

平成25年度兵庫県内各市町の経常収支比率の状況

- 平成25年度の経常収支比率の県内市町平均は91.6%。(H25全国平均は90.2%)
- 経常収支比率が最も高い団体は、市では芦屋市、相生市(ともに98.3%)、町では上郡町(94.5%)。
- 経常収支比率が最も低い団体は、市では丹波市(81.2%)、町では香美町(79.3%)。



経常収支比率の対前年度比較

■前年度から比率が減少したのは27団体、比率が増加したのは14団体
 ■最も減少したのは、市では加東市 (▲5.1)、町では香美町 (▲6.8)
 ■最も増加したのは、市では養父市 (3.8)、町では佐用町 (2.9)



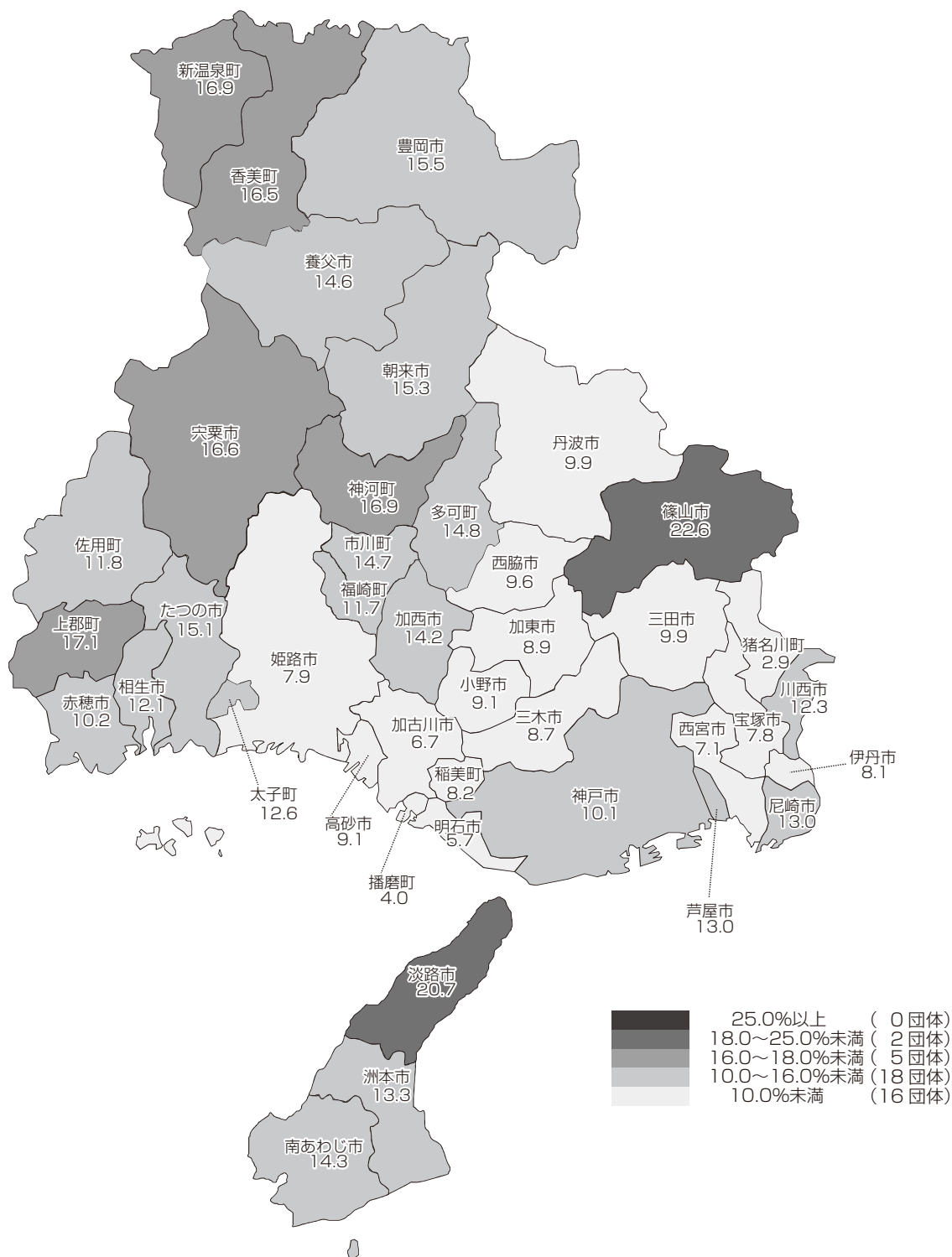
太字がH25の数値

(2) 実質公債費比率の状況

【資料3】

平成25年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況

- 平成25年度の実質公債費比率の県内市町平均は10.4%。(H25全国平均は8.6%)
- 実質公債費比率が25%以上^{※1}の団体はないが、18%以上^{※2}の団体は、昨年度の5団体から3団体(宍粟市、神河町、香美町)減少し、篠山市(22.6%)、淡路市(20.7%)の2団体となった。
- 実質公債費比率が16%未満^{※3}の団体は、34市町となった。



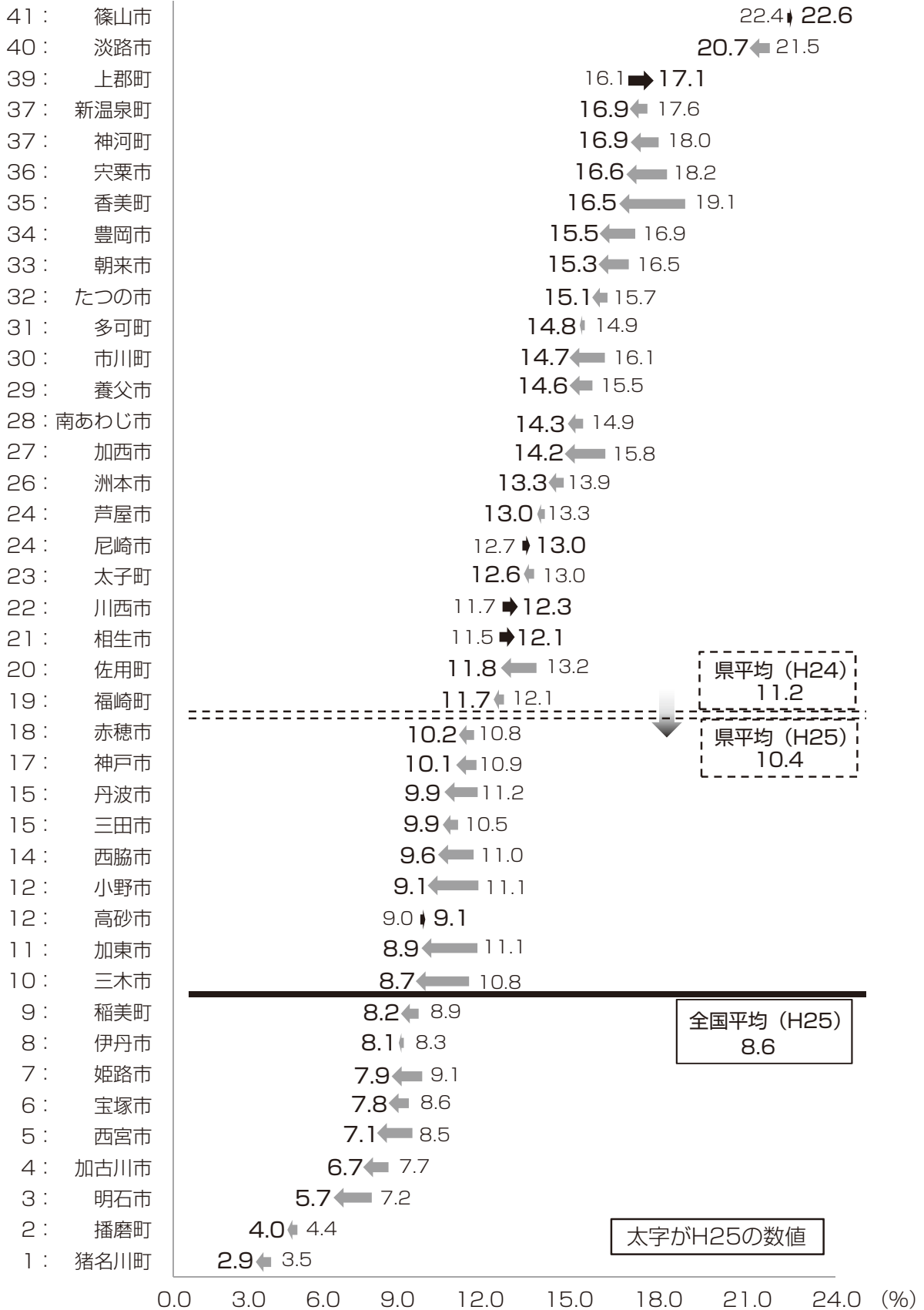
※1 実質公債費比率が25%以上35%未満の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、その内容及び実施状況に応じて起債が許可される。

※2 実質公債費比率が18%以上25%未満の地方公共団体は、公債費負担適正化計画の内容および実施状況に応じ、起債が許可される。

※3 実質公債費比率が16%未満(実質赤字額・連結実質赤字額が0、将来負担比率200%以下等)の地方公共団体は、民間等資金の起債にあたり、原則として協議が不要となり、事前届出となる。

実質公債費比率の対前年度比較

■前年度から比率が減少したのは35団体、比率が増加したのは6団体
 ■最も減少したのは、市では加東市（▲2.2）、町では香美町（▲2.6）
 ■最も増加したのは、市では相生市、川西市（0.6）、町では上郡町（1.0）



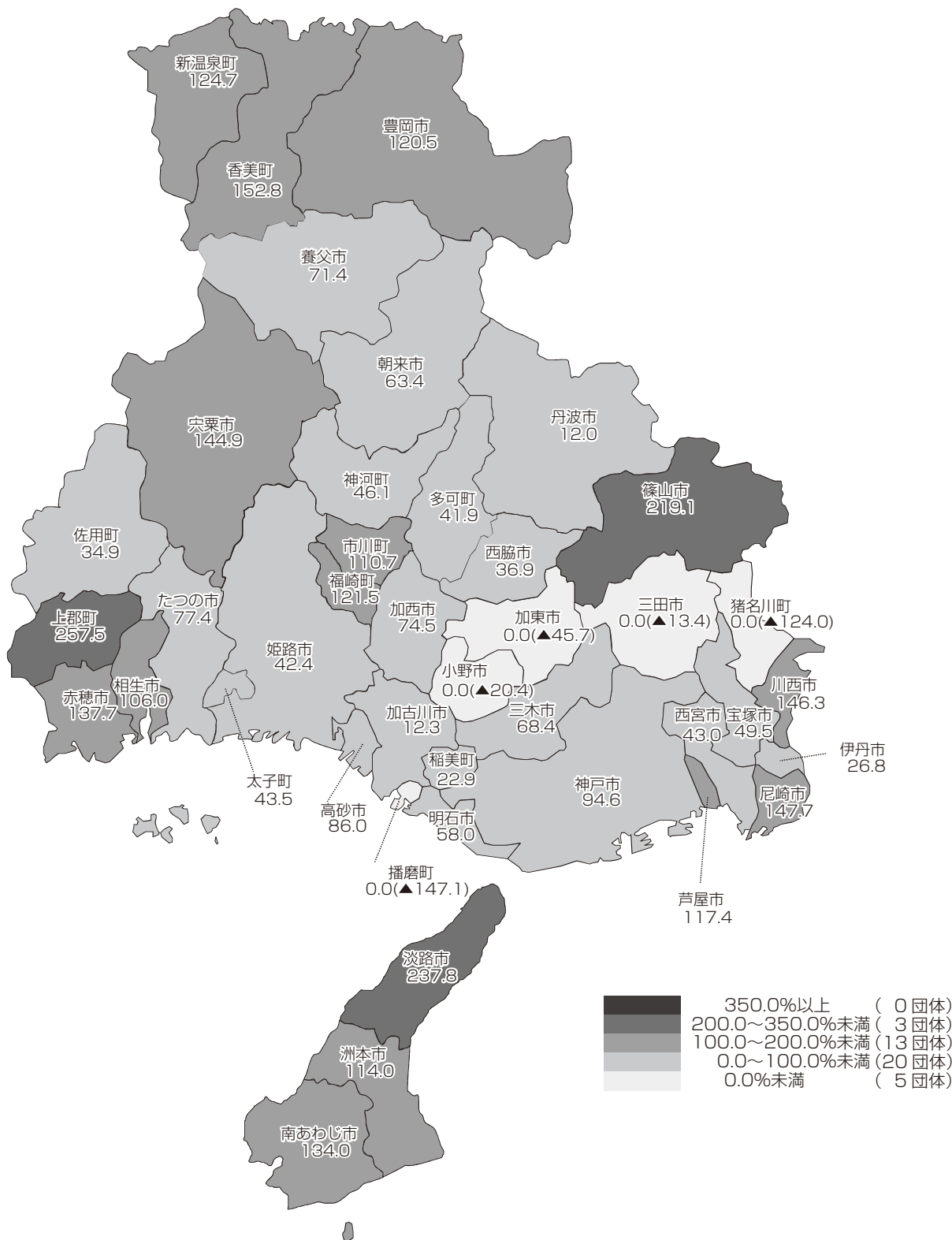
太字がH25の数値

(3) 将来負担比率の状況

【資料5】

平成25年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況

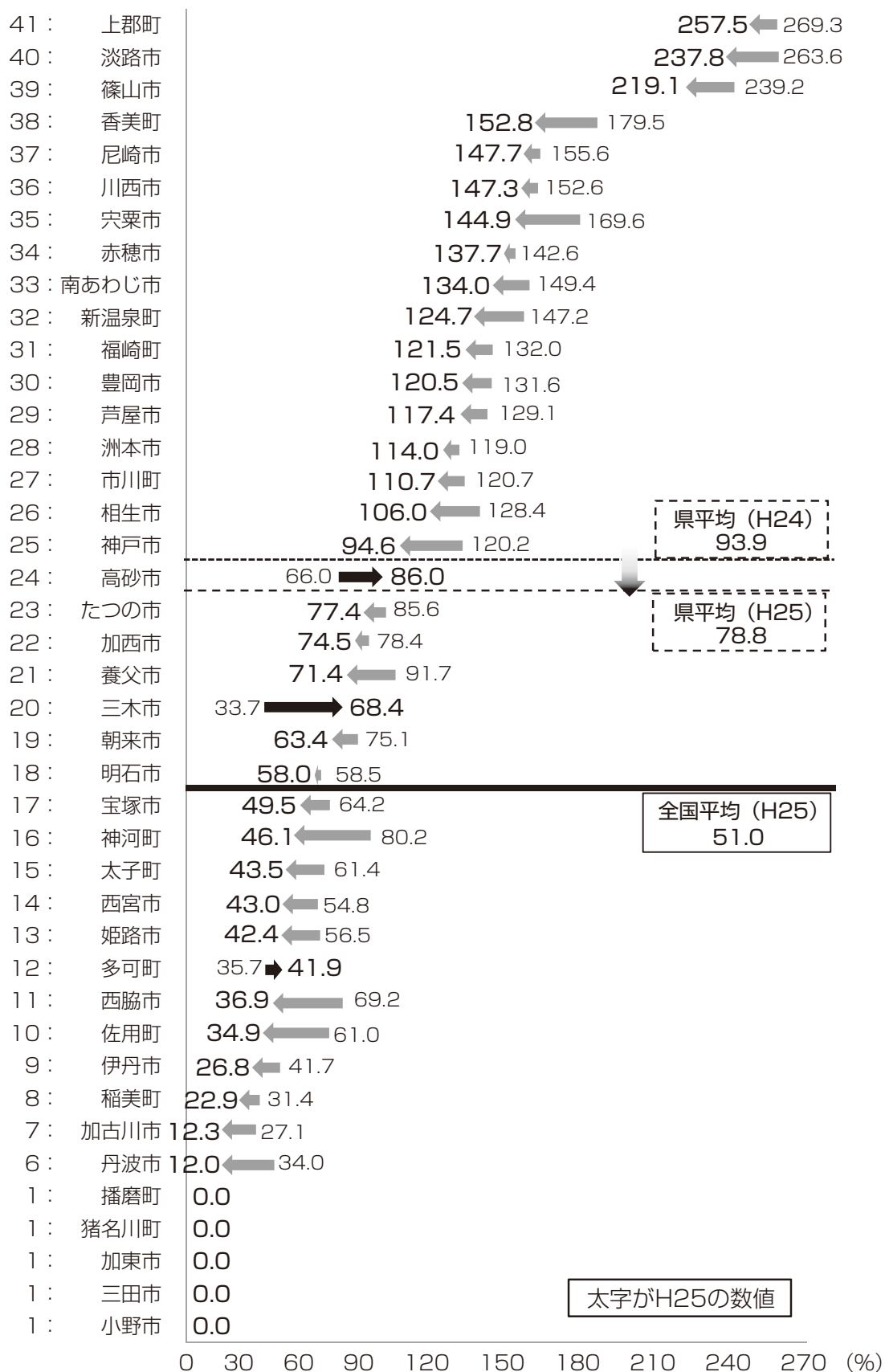
- 平成25年度将来負担比率の県内市町平均は78.8%。(H25全国平均は51.0%)
- 将来負担比率が350%以上(早期健全化団体)*の団体はない。200%を超える団体は、篠山市(219.1%)、淡路市(237.8%)、上郡町(257.5%)の3市町。0.0%未満の団体は加東市、播磨町など5市町。



*将来負担比率が350%以上(政令市においては400%以上)の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を定めなければならない。

将来負担比率の対前年度比較

■前年度から比率が減少したのは38団体（比率に変更ない5団体を含む）、比率が増加したのは3団体
 ■最も減少したのは、市では西脇市（▲32.3）、町では神河町（▲34.1）
 ■最も増加したのは、市では三木市（34.7）、町では多可町（6.2）

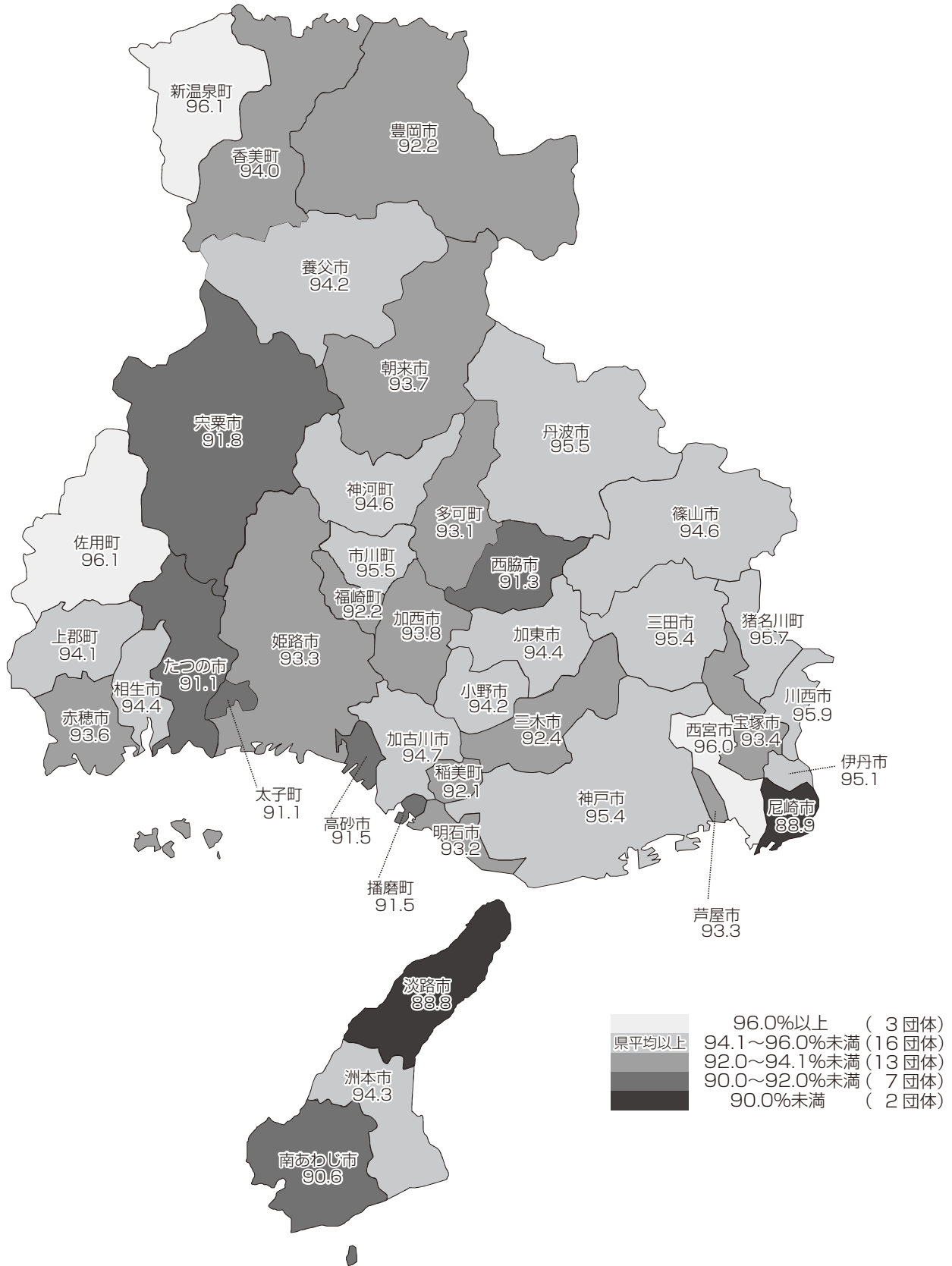


(4) 税徴収率の状況

【資料7】

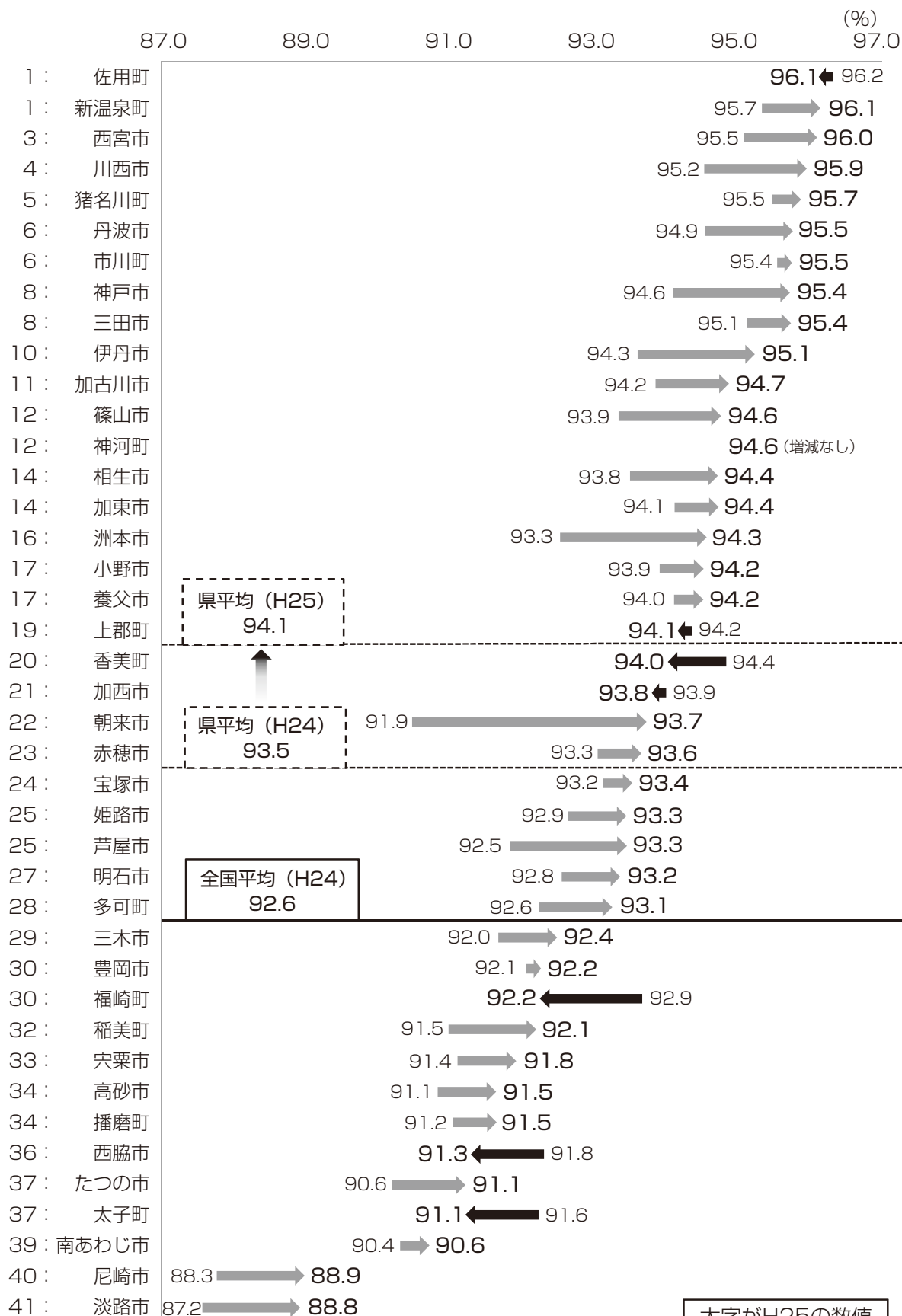
平成25年度兵庫県内各市町の徴収率（個人住民税）の状況

- 徴収率の県平均は94.1%（H24県平均93.5%）
- 県平均を超えているのは19団体（H24県平均を超えていたのは20団体）
- 徴収率が最も高い団体は、市では西宮市（96.0%）、町では新温泉町（96.1%）
- 徴収率が最も低い団体は、市では淡路市（88.8%）、町では太子町（91.1%）



徴収率（個人住民税）の対前年度比較

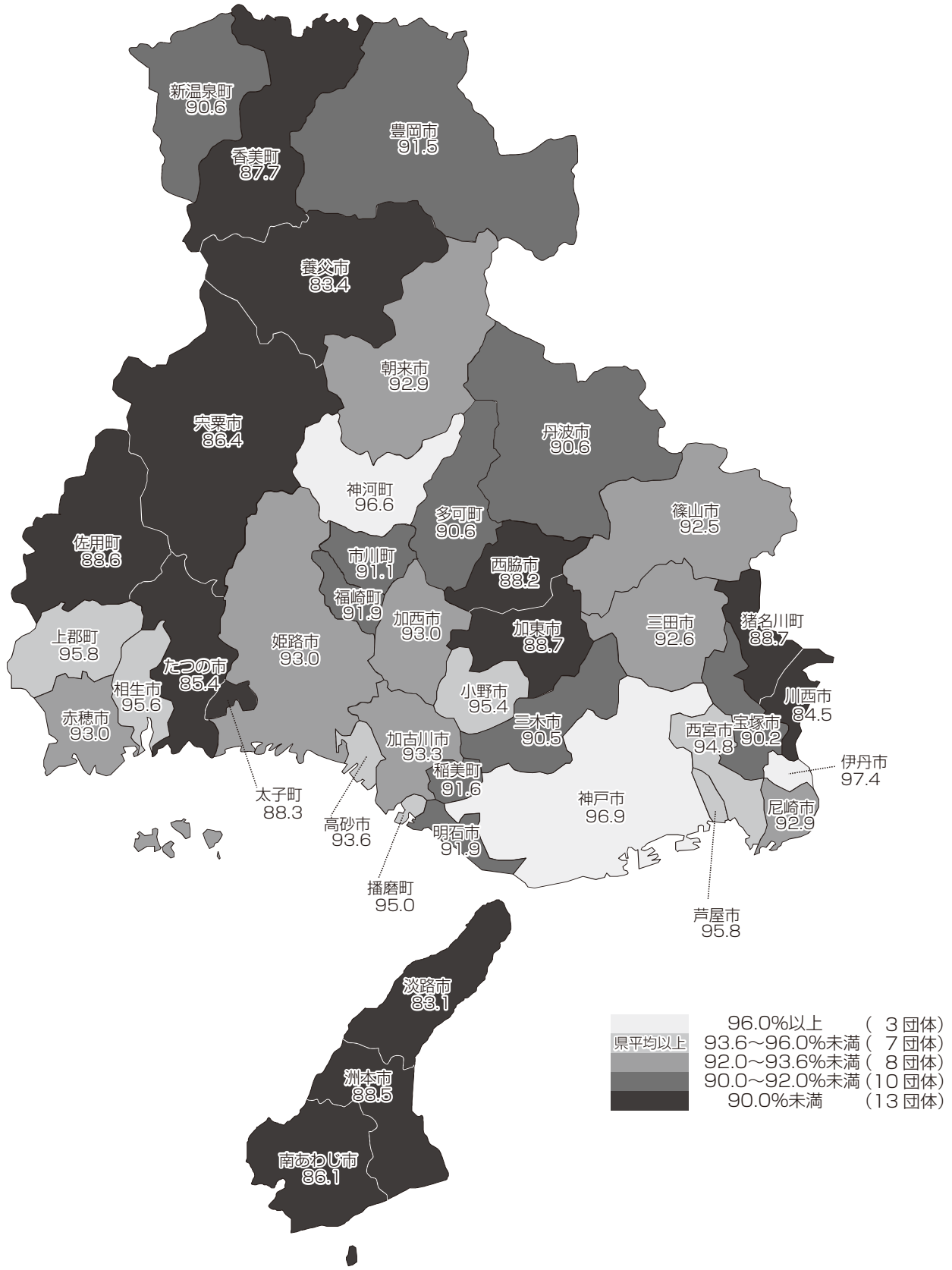
■前年度から比率が減少したのは7団体、徴収率が増加したのは33団体。
 ■最も増加したのは朝来市（1.8%）、最も減少したのは福崎町（▲0.7%）。



太字がH25の数値

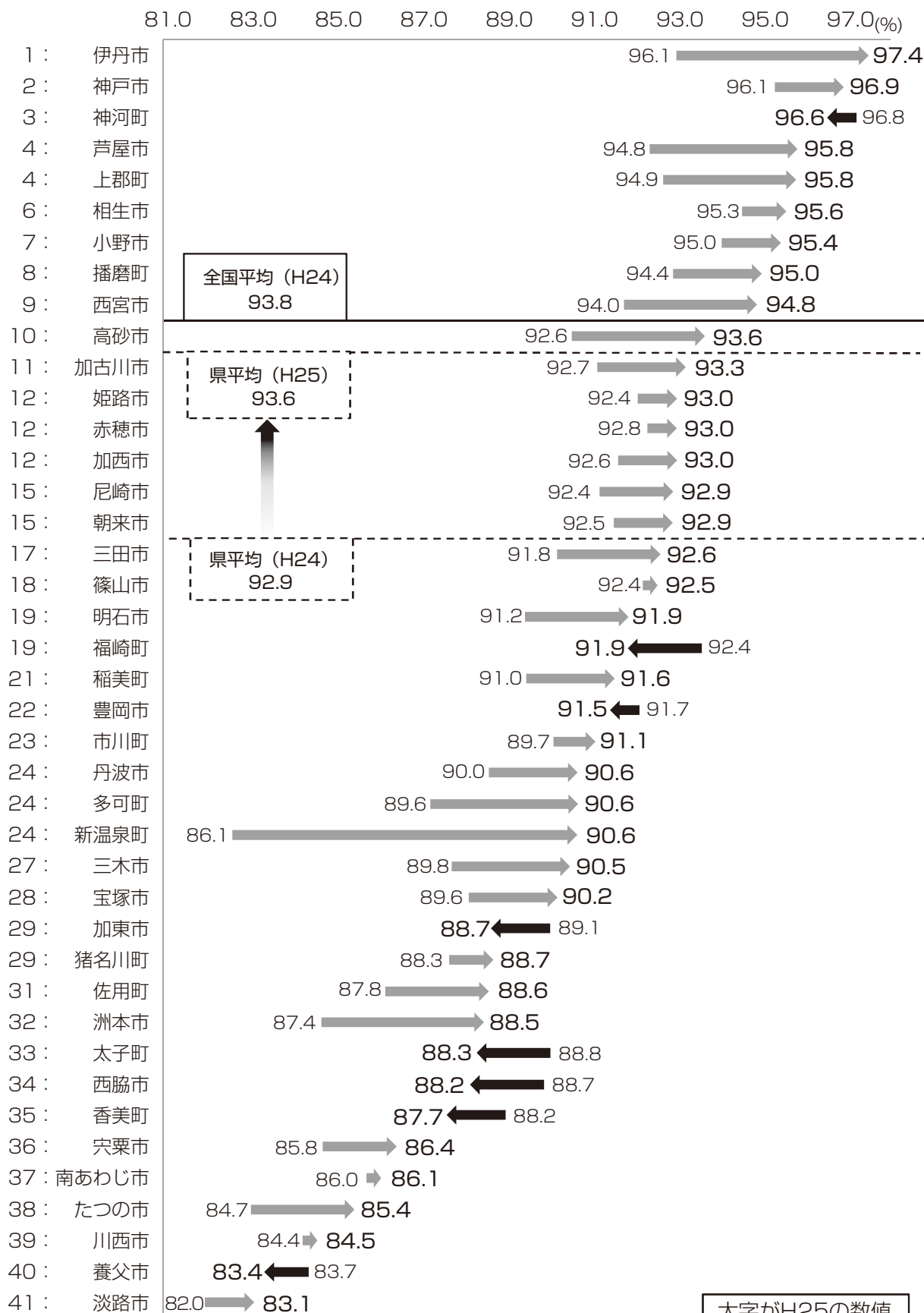
平成25年度兵庫県内各市町の徴収率（固定資産税）の状況

- 徴収率の県平均は93.6%（H24県平均92.9%）
- 県平均を超えているのは10団体（H24県平均を超えていたのは9団体）
- 徴収率が最も高い団体は、市では伊丹市（97.4%）、町では神河町（96.6%）
- 徴収率が最も低い団体は、市では淡路市（83.1%）、町では香美町（87.7%）



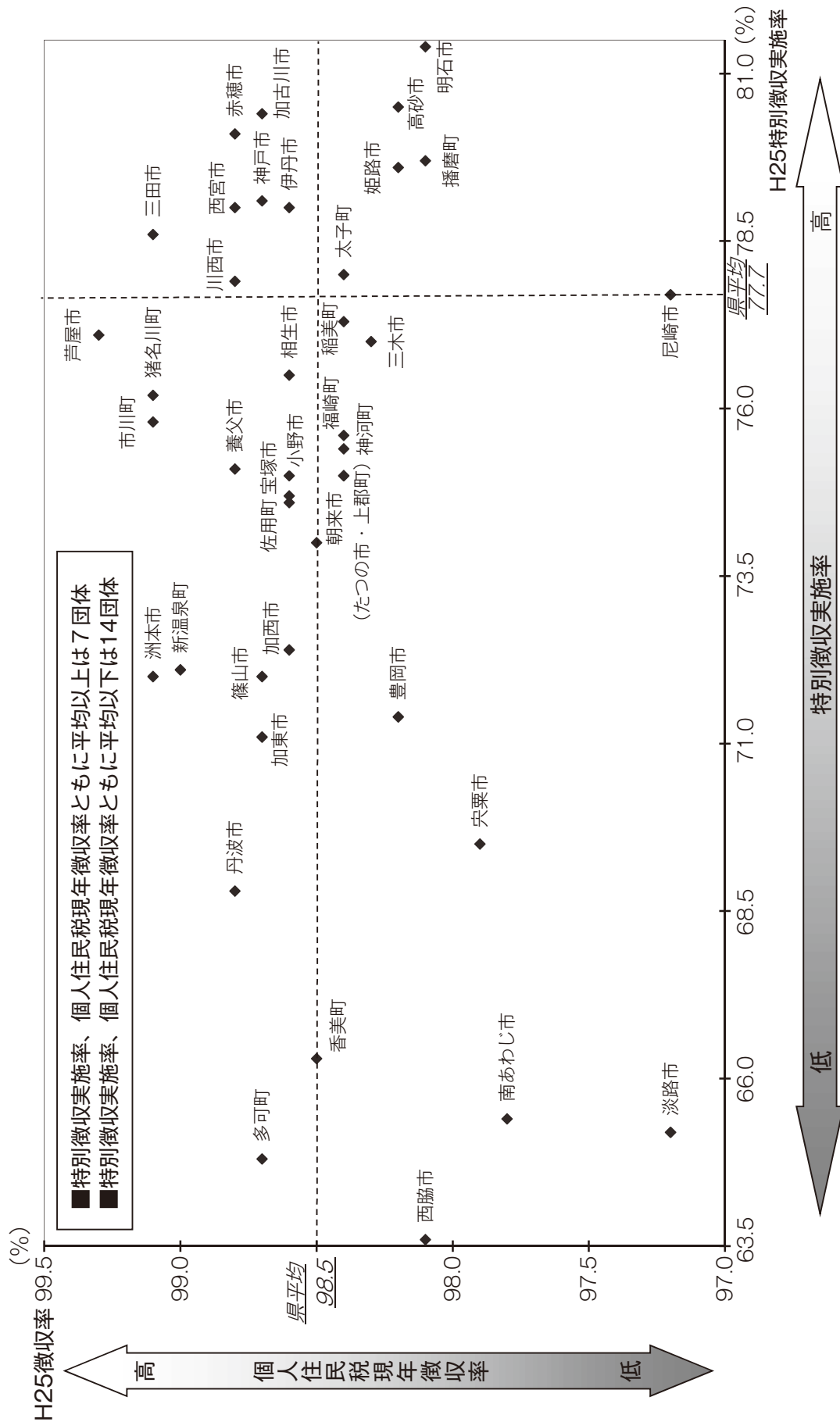
徴収率（固定資産税）の対前年度比較

■前年度から比率が減少したのは8団体、徴収率が増加したのは33団体。
 ■最も増加したのは新温泉町（4.5%）、最も減少したのは西脇市、福崎町、太子町、香美町（▲0.5%）。



個人住民税現年徴収率と特別徴収実施率[※]の相関関係

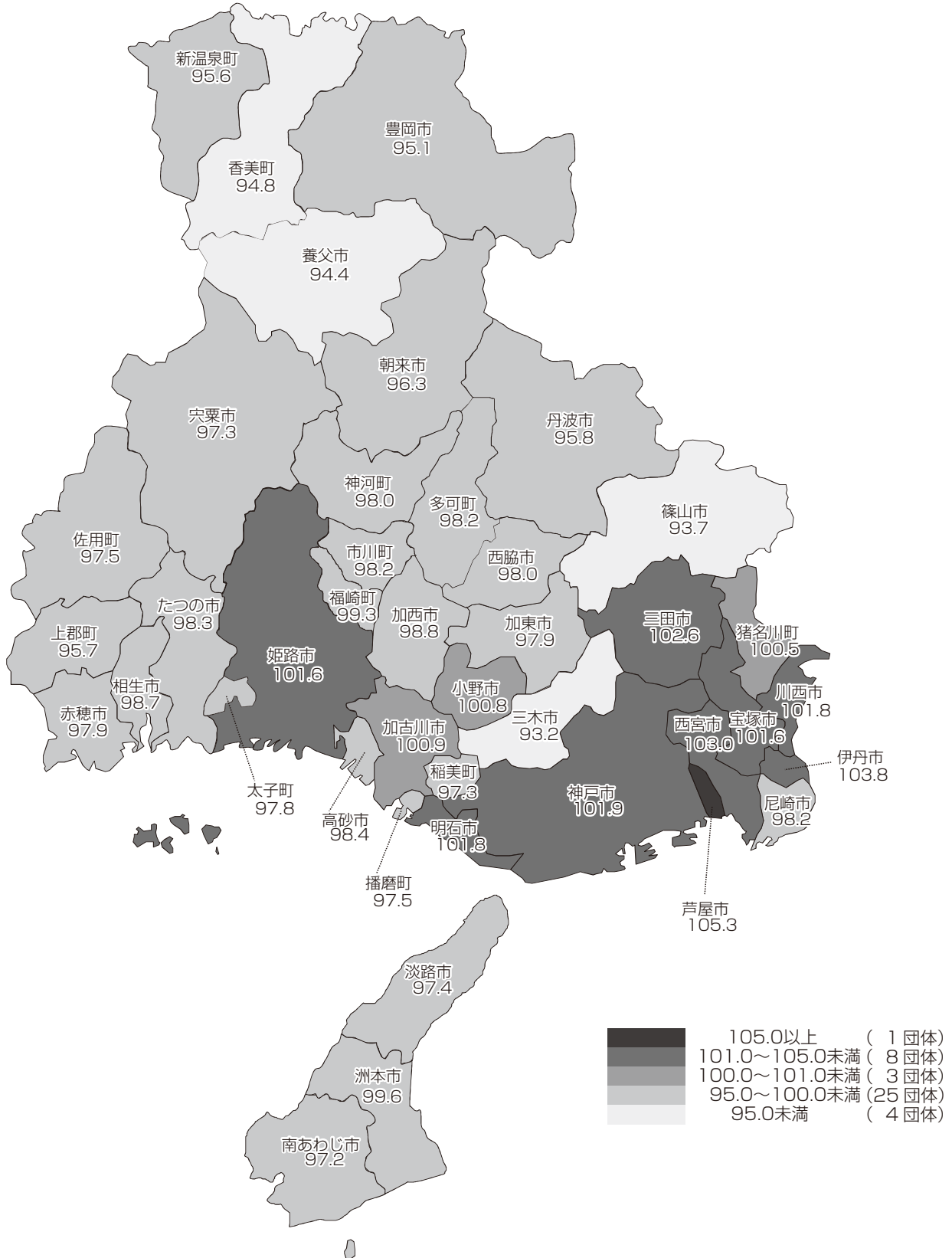
【資料11】



※特別徴収実施率＝給与所得者のうちの特別徴収で納付している人数／給与所得者の納税義務者数

平成25年度兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況（H25.4.1参考値）

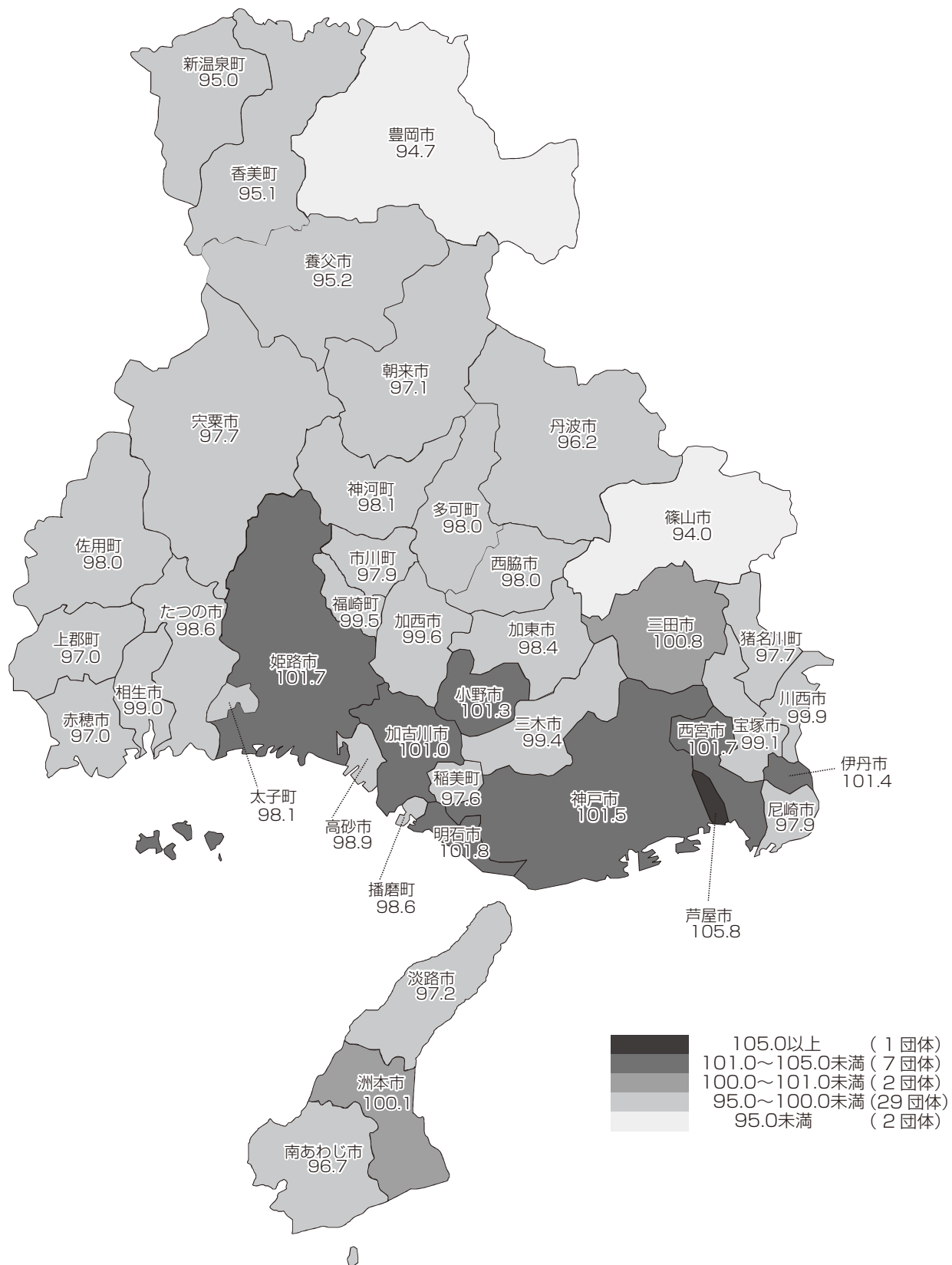
- ラスパイレス指数※が100.0以上の団体は、芦屋市（105.3）、伊丹市（103.8）など12市町。
- ラスパイレス指数が100.0未満の団体は三木市（93.2）など29市町。



※ラスパイレス指数：国家公務員一般行政職の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準（H25は、給与改定・臨時特例法による国家公務員の給与減額措置がないとした場合の参考値）

平成26年度兵庫県内各市町のラスパイレース指数の状況（H26.4.1）

- ラスパイレース指数※が100.0以上の団体は、芦屋市（105.8）、明石市（101.8）など10市町。
- ラスパイレース指数が100.0未満の団体は篠山市（94.0）、豊岡市（94.7）など31市町。



※ラスパイレース指数：国家公務員一般行政職の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準

ラスパイレス指数の対前年度比較

■前年度から指数が減少したのは15団体、比率が増加したのは24団体
 ■100を上回る団体は、前年度の12団体から10団体に2団体減少
 ■最も増加したのは三木市 (6.2)、最も減少したのは猪名川町 (▲2.8)

※ 市町名の後の()はH26全国順位
 (市区町村の高い順)

